

## 遠山邸研究会について

昭和 11 年の竣工になる遠山記念館の遠山邸は、昭和 45 年から財団法人遠山記念館の文化財建造物として一般に公開し、多くの方々に近代和風建築の静謐なる空間をお楽しみいただいております。平成 12 年には、国の登録文化財となり、平成 25 年からは公益財団法人になりました。

築後 80 年を経過し、邸宅の良好な状態を維持して長く後世に伝えるため、邸宅の建築学的な調査と検証を進めるべく「暮らしと建築の美 -遠山邸研究会-」を平成 23 年に立ち上げました。併せて、遠山邸と近代建築について、各分野の先生方をお招きした講演会を開催しております。これまでの講演会は以下の通りです。

### 第 1 回 平成 23 年 11 月 5 日

宗本 順三 氏 京都大学名誉教授

「遠山邸と京都東山邸宅群建築-数寄屋邸宅建築の粋-」

京都の東山一帯に、明治から大正時代の政財界人が建てた数寄屋建築の邸宅群があり、それらと遠山邸とを比べることで、遠山邸の近代和風建築としての性格を解き明かしていただいた。

### (2 部) 新見 隆 氏 武蔵野美術大学教授

山本 三千子 氏 室礼研究家

対談「遠山邸座敷に飾られた本日の室礼について」

遠山邸座敷の山本氏による室礼の意味、伝統を取り入れた新しい室礼の形にこめる日本人の心について対談していただいた。

### 2 回 平成 24 年 3 月 10 日

鈴木 博之 氏 青山学院大学教授

「近代和風建築と遠山邸」

近代数寄者が好んだ田舎屋の系譜、関東における近代和風の表現など鮮やかな切り口にて、遠山邸の面白さとその意味を解き明かしていただいた。

### 3 回 平成 24 年 5 月 12 日

松隈 洋 氏 京都工芸繊維大学教授

「地域資源としてのモダニズム建築-その歴史と現代的意味について」

遠山邸とともに遠山記念館の魅力ある建築である今井兼次設計の美術館について、モダニズム建築の流れを通覧しながら、個性的な作風を解説していただいた。

### 4 回 平成 24 年 9 月 23 日

隈 研吾 氏 建築家

「場所の力」

建築は災害によって大きく変化してきた歴史から話を始められ、東日本大震災以降、建築はいかにしてその場所の自然と一体化していくべきか、地域の材料や人々の力を活用していく重要性についてお話いただいた。

### 5 回 平成 24 年 10 月 13 日

江面 嗣人 氏 岡山理科大学教授

「床の間等にみられる日本文化と文化財の保護」

日本独自の空間である床の間が成立した歴史と意味について、江戸時代後期から煎茶の思想によって床飾りが変化してきた新しい流れについても解説していただいた。

### 6 回 平成 25 年 3 月 16 日

伊東 豊雄 氏 建築家

「地域の力がこれからの日本をつくる」

建築は町を元気にすることができるという話から始められ、これまでの国内外の作品と、東日本大震災後に被災者の集会所「みんなの家」建設による支援活動について、熱く語っていただいた。

- 7回 平成 26 年 5 月 10 日  
中村 義明 氏 数寄屋大工棟梁  
「木造建築物の現代的意義」  
日本を代表する数寄屋大工 中村外二工務店の 2 代目中村義明氏に、なぜ木で家を作るのかという木造建築の意義、数寄屋建築の素晴らしさについて講演をしていただきました。
- 8回 平成 26 年 6 月 7 日  
久住 章 氏 左官職  
「遠山邸の塗り壁」  
久住章氏はカリスマ左官と呼ばれる名人で、遠山邸の左官仕事についても早くから関心をいただきました。邸宅内を回ってそれぞれの壁の特徴と匠の技、見どころをうかがいました。
- 9回 平成 26 年 9 月 20 日  
吉条 良明 氏 東京木材問屋協同組合理事長  
馬場 璋造 氏 建築評論家  
対談「日本の伝統的普請」  
日本の住宅建築の伝統的な建て方と木材について、対談形式で話をさせていただきました。人にやさしい木造建築と、昨今の本物志向にふれ、遠山邸は格好の手本になると評価をいただきました。
- 10回 平成 27 年 5 月 23 日  
小川 治兵衛 氏 庭師  
「植治の庭」  
京都で代々庭作りを携わる植治 11 代目小川治兵衛氏より、自然の香りやエッセンスをお届けするのが造園の仕事ですとの話から、明治時代に京都の東山庭宅群の庭造りをした 7 代目小川治兵衛の仕事、庭造りの心についてうかがうことができました。
- 11回 平成 27 年 11 月 7 日  
日塔 和彦 氏 文化財建造物修復技術者  
「日本の茅葺き・世界の茅葺きー多様な茅葺き技術」  
茅葺き建築を 50 棟余りも修復の仕事をしてきた日塔和彦氏から、日本ばかりではなく、アジアや太平洋諸国、さらに今日も新築の盛んなヨーロッパの茅葺き建築についてもお話しをうかがいました。
- 12回 平成 28 年 4 月 16 日  
高橋 利幸 氏 建具師  
「遠山邸の材料と建具の技法」  
建具の内部構造や材料の特性など、日本建築に欠かせない建具の魅力を、実例や組子の見本を使って紹介していただいた。遠山邸をめぐる建具解説も、楽しく有意義でした。
- 13回 平成 28 年 9 月 24 日  
岡田 暁夫 氏 畳師  
「伝統の畳と遠山邸の表替えについて」  
遠山邸の畳表替えをお願いした岡田氏に、その際に発見した創建時の畳店屋号貼り紙や、大広間床の間に入れた龍鬢畳の特別な仕様について、紹介していただいた。

遠山邸の近代和風建築としての文化財価値についてばかりではなく、近代建築のデザイン、さらに大工左官や庭師の奥義まで、聴講の参加者に大きな感動をいただきました。

今後とも近代和風建築の奥深い魅力と価値を探るため、調査研究と講演などの活動を続けて参ります。ご支援のほど、よろしくお願いたします。